

第44卷第3号 (1991年1月)

住谷一彦先生記念号によせて……………丸山 惠也
 マックス・ヴェーバーと日本：経済学部最終講義……………住谷 一彦
 —宗教と社会との普通史的関連の視座から—

〔論文〕

カウツキーの民族理論……………相田 慎一
 —『民族性と国際性』(1908)を中心に—
 保護主義の二つの体系：リストとケアリー……………高橋 和男
 —リスト『経済学の国民的体系』のアメリカ版(英語初訳)の検討を中心に—
 国民経済論の再検討……………道重 一郎
 —大塚久雄氏の業績によせて—
 マックス・ヴェーバーの取引所法論(上)……………松野尾 裕

〔研究ノート〕

エミール・レーデラーの日本研究……………ウルフガング・シュヴェンカー
 ルツジェーロの自由主義論……………手塚 真強
 グスタフ・シュモラーの学的遺産……………和田 強
 —最近のシュモラー研究の動向によせて—
 Wer gilt in A. als ein Fischer?……………K.-U. Nennstiel
 —Ein Beitrag zur Lebens- und Arbeitsweise Japanischer Fischer—

〔書評〕

笠井昭次著『会計的統合』……………茂木 虎雄
 (慶応通信、1989年)
 Ronald Smelser/Rainer Zitelmann (Hrsg.) *Die braune Elite-22 biographische Skizzen*……………川瀬 泰史
 (Darmstadt, 1989)

住谷一彦先生の人と学問……………小林 純
 住谷一彦教授の略歴および業績

執筆者紹介 (掲載順)

丸山 惠也	本学経済学部教授
逆井 孝仁	本学経済学部教授
服部 正治	本学経済学部助教授
中内 清人	本学経済学部教授
菊野 一雄	本学経済学部教授
秋野 晶二	本学経済学部講師
田中 正義	本学経済学部名誉教授
山本 二三丸	本学経済学部名誉教授
福田 はぎの	本学経済学部非常勤講師
茂木 虎雄	本学経済学部教授
マイケル・シュワルツ	ニューヨーク州立大学教授